

ICT超高齢社会構想会議ワーキンググループ
第1回
～超高齢社会と情報社会の融合～

早稲田大学電子政府・自治体研究所准教授
国際CIO学会理事兼事務局長
岩崎尚子

テーマ

- 超高齢社会の現状
- 日本における問題
- 日本での取り組み状況
- 諸外国での取り組み状況
- 海外（APEC、OECD等）の動向
- 解決策
- 総括

超高齢社会の現状(1)

現状

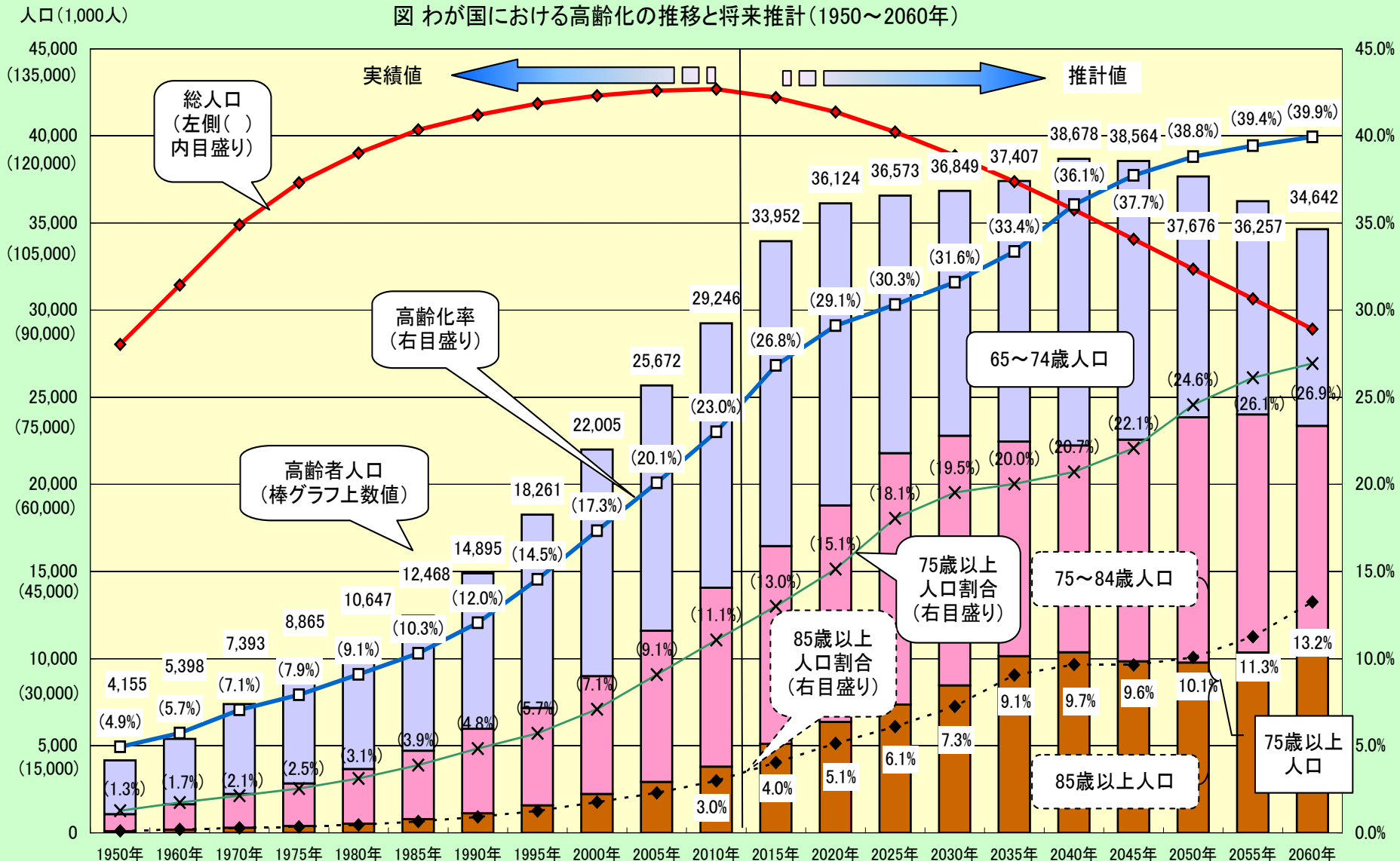
- ・高齢化率：1950年：4.9%（20人にひとり）
1970年に7%に達する（高齢化社会に到達）
- ・現在は23%に達する（4～5人にひとり）

将来予測

- ・高齢者の数が増加（第1次ベビーブーム世代）
→2020年頃以降は安定するが、
2045年頃以降は減少
- ・総人口の減少
→ 高齢化率の上昇（2060年には39.4%）
- ・75歳以上（後期高齢者）の割合が高くなる
健康、介護等に関するニーズの増加

超高齢社会の現状(2)

図 わが国における高齢化の推移と将来推計(1950~2060年)



注: 1955年と1960年は割愛した。

資料: 2010年までは総務省統計局「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

超高齢社会の現状(3)

表 平均寿命、人口の自然増加および合計特殊出生率の動き

	平均寿命(年)		ある年齢まで生存する者の割合(%)				人口の 自然増 加(万 人)	合計特殊 出生率
	男	女	男		女			
			65歳	80歳	65歳	80歳		
1947年	50.06	53.96	39.8	9.5	49.1	17.3	154.1	4.54
1960年	65.32	70.19	64.8	20.1	75.2	33.8	89.9	2.00
1970年	69.31	74.66	72.1	26.1	82.6	43.0	122.1	2.13
1980年	73.35	78.76	79.4	37.8	88.5	57.0	85.4	1.75
1990年	75.92	81.90	82.6	46.9	91.3	67.8	40.1	1.54
2000年	77.72	84.60	84.7	52.5	92.6	74.5	22.9	1.36
2011年	79.44	85.90	86.9	58.7	93.1	78.3	-20.2	1.39

資料:厚生労働省「完全生命表」、「簡易生命表」、「人口動態統計」

注:人口の自然増加は(出生数-死亡数)で求められる。

地震による死因を除去した場合の2011年の平均余命は男性が79.7歳、女性が86.24歳である。

超高齢社会日本における問題

日本経済10重苦－国際競争力の低迷要因

10重苦

- ① 超円高－韓国ウォン安で韓国製品に3割高
- ② 世界有数の災害大国
- ③ 高コスト社会－電力料金はさらに高くなる
- ④ 自由貿易体制の遅れ－TPP？
- ⑤ 厳しい環境 CO₂規制
- ⑥ 先進国でトップクラスに高い法人税
- ⑦ 膨大な政府財政赤字
- ⑧ 世界一の少子高齢化社会到来
- ⑨ 社会インフラの老朽化(高齢化)
- ⑩ 国際人材不足－ユニバーサルデザイン、標準化に弱点

問題点

- 日本企業の海外展開で国内産業の空洞化
- 外国企業が災害／高税で対日本投資を敬遠
- 定年後の熟練技術者の海外流出－韓国、中国企業が採用
- 韓国は米国、EUとEPAと締結済－日本は1周遅れの経済連携模索
- 慢性的財政赤字でインフラを含め社会資本の積極投資望めず
- 潜在的に優秀な戦力としての高齢者、女性、外国人の人材活用不十分
- 不慮の事故、病気、災害への備えで個人金融資産の6割を所有する高齢者の消費は伸びない

研究所の取り組み状況

- APECワークショップ（4月 ベトナム・ダナン）
- OECDワークショップ（4月、パリ）
- 日中韓高齢社会シンポジウム開催（5月 北京）
- 国連経済社会理事会専門家会議（6月 東京）
- OECD=APEC=早稲田大学国際会議（9月 東京）
- 早稲田大学オープン教育講座
（学部生270名受講 9月～13年2月 早大）
- その他世界経済フォーラム、国連ITU、ユネスコ、
国連大学などと協力

OECD/APEC/早稲田大学共催シルバーICT国際会議

2012年9月12-14日 於早稲田大学
※詳細は日経新聞(10月18日)

国際会議での日本のシルバーICT紹介 OECD、APEC以外でも世界経済フォーラム、
国際CIO学会、ユネスコ、国連ITUでもプロジェクト実施



早稲田大学小尾敏夫教授

慶應大学清家篤塾長



日商会頭岡村正氏

日中韓高齢社会3カ国会議

日時: 2012年5月15日

場所: 北京

共催: 日本: 早稲田大学 中国: 国務院参事官室 韓国: 大統領府未来企画委員会

プログラム:

1日目ー北京市内高齢者施設視察、交流会

2日目ー「現状把握」「政策綱領」「課題と対策」「共通問題」の4セッションで発表討議

中国は 2050年に4億人高齢社会出現ー家族・近所で95%対応策検討

韓国は世界1の自殺率と超学齢主義の孤独感

参加者: 約60名 (日本団は小尾団長, 阪本副団長など15名) 次回は2013年5月東京



海外でのシルバーICTイノベーション取り組み状況

Home Electronics

- スマートホーム
- セーフティ・システム
- GPSユビキタス・ネットワーク
- 在宅健康医療
- 環境コントロール
- 介護ロボット
- 在宅勤務

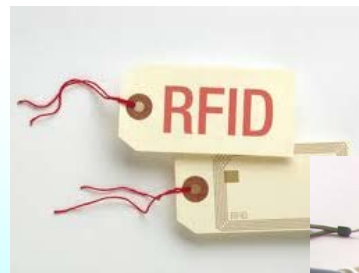
Life Innovation

- 電子参加
- オンラインショッピング
- タッチパネル
- E-バンキング
- 電子決済
- TV番組
- ソーシャル・アラーム
- 簡単携帯電話「らくらくフォン」
- 簡単PC
- ソーシャル・ネットワーク
- クラウド ビックデータ

Healthcare

- テレ・ヘルス
- テレ・ケア
- 見守り
- 医療ロボット
- サービスイノベーション
- 電子カルテ
- モニタリングシステム

解決策－ICTと他の産業との融合

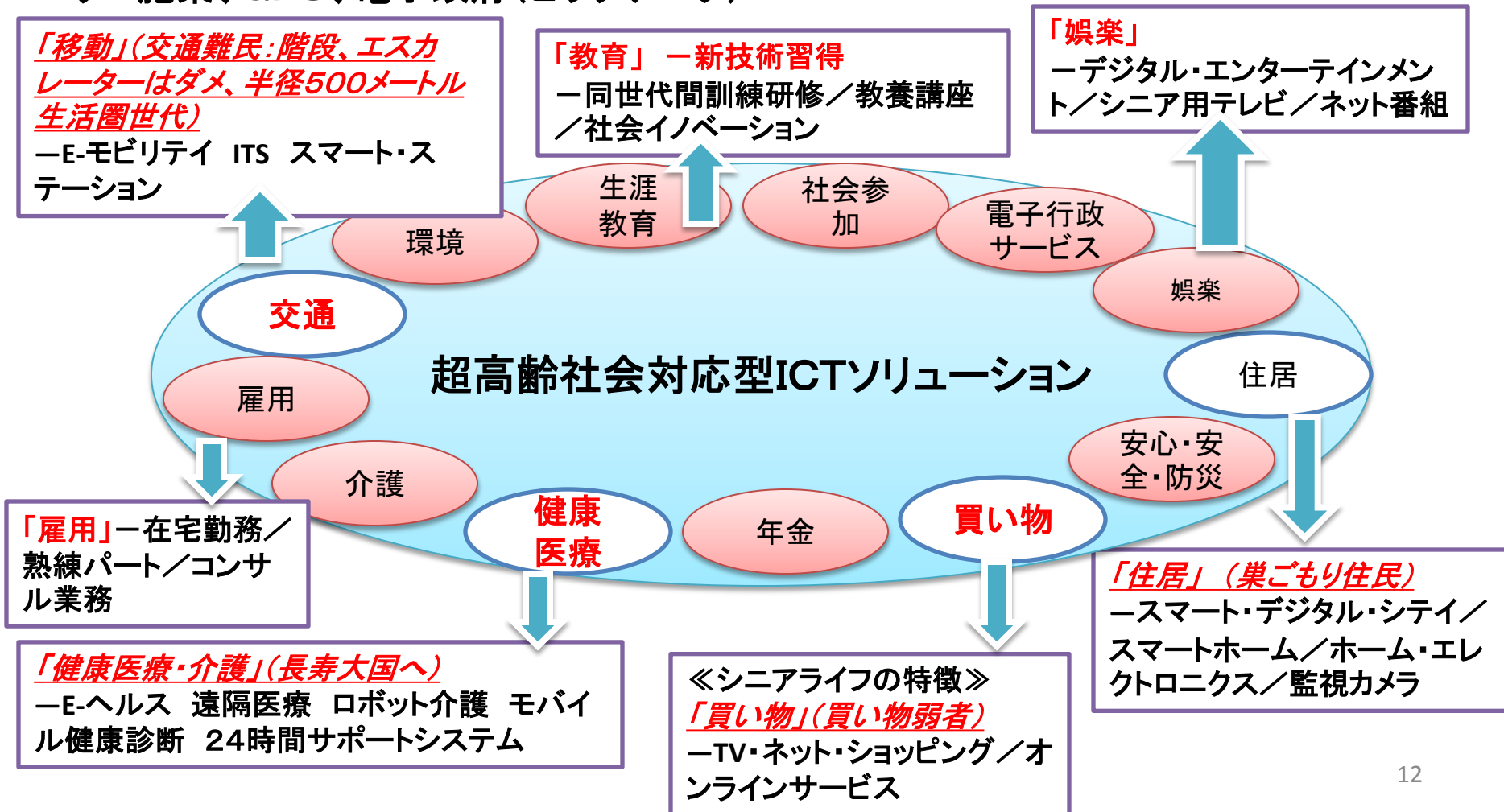


あらゆるビジネスがICTと融合



超高齢社会の到来と新産業の育成

- 日本のシルバー市場は約80兆円、うちICT部門は14%
- 世界のシルバー市場はOECDが試算中
- 注目分野: Eーヘルス、スマホ、ロボット、防災、健康食品、在宅勤務、地域のバリアフリー施策、GPS、電子政府(ビックデータ)



本構想戦略会議の挑戦課題案

1. 3年行動計画のロードマップ作成および20年構想(シミュレーション)の構築と対策解決案
2. 日本のみならず世界中から訪問客が集まる世界最高のシルバーICTモデル実験都市のネットワーク化建設
3. 国連ITUでの**MDG(ミレミアム開発目標)** – **S(シニア)DG**構築
4. 国際競争力のあるシルバーICT産業の育成施策と総合的市場アプローチ化
5. **シルバーICTの国際・日本市場規模**の算出および高齢者消費の20年予測シミュレーション
6. 世界唯一の祭日“敬老の日”の世界規模の祭典へ
7. 国別の世界高齢者生活向上(幸福)指数ランキングの策定
8. **シルバーICT活用白書**の作成

総括

人類史上初の**高齢者急増、少子化、人口減少**に直面した日本
—「**情報・知識社会**」と「**超高齢社会**」の**新融合社会システム**の樹立

災害・事故の最大の被害者は**高齢者**
—世界は「**災害大国**」日本の教訓・シニア対応 **防災・安全安心システム**確立に期待

ICTイノベーション活用による世代**格差8重苦**
—医療、介護、年金、雇用、教育、娯楽、交通、買い物問題の解決

総合的解決アプローチの必要性
—成熟する社会、社会インフラの高齢化(老朽化)、シルバーICT産業の育成

日本は**壮大な世界の実験場**
—家族、地域、政府、民間が連携する**自助、共助、公助社会**の確立